

.....

1. 事故・ヒヤリハットの別	ヒヤリ
2. 体験した事例の名称	結核患者の救急搬送時における感染危険
3. 体験した事例の中心的要素	一般住宅にて発生した救急出場（急病）において、傷病者が結核に感染している事実を把握できず、救急隊員が感染する可能性が発生したことである。
4. 体験した事例の原因・理由	覚知段階においての受報内容及び現場到着後における傷病者の病歴等の確認によっても、感染が判明しなかった。

.....

1. 体験した事例の直接的な原因	
------------------	--

.....

1. 発生日時	平成 19 年 1 月 17 日 午後 11 時頃
2. 発生した当時の天候	雨
3. 発生した活動現場	屋内：傷病者宅内・救急自動車内
4. 体験した事例の種類	他人が、回答者を負傷させた。
5. 事故の程度（ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度）	重傷の怪我をしていた（させていた）だろう。
6. どのようなことが起きたのか（起きそうになったのか）	その他：結核感染
7. 事例体験時の活動	救急、現場活動初期、現場活動中期、現場活動終了時、 []
8. （7の活動中） どのような作業中に発生したか	応急処置、車両への収容、搬送中、病院へ引継、
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	数年に1度程度の割合で体験している。

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）

○当事者 A	年齢[40]歳、勤続年数[23]年、現場経験年数[16] 年、 階級[消防司令補]、 同様の活動 [初めて]、 任務 [車長]
○当事者 B	年齢[31]歳、勤続年数[13]年、現場経験年数[1]年、 階級[消防副士長]、 同様の活動 [初めて]、 任務 [機関員]
○当事者 C	年齢[31]歳、勤続年数[7]年、現場経験年数[3]年、 階級[消防副士長]、 同様の活動 [初めて]、 任務 [隊員]
その他 (当事者が 4 人以上の場合)	

11. 事例発生の経過。

	誰(何)が	なにをした	その他・備考など
経過 1	A・B・C (23:05)	救急出場（急病）	
経過 2	A・B・C (23:27)	市内医療機関収容（標準的感染防御実施）	傷病名 発作性心房細動
経過 3	A（翌日）	収容先医療機関から当該傷病者が結核である旨連絡を受けた	
経過 4	同上	上司への報告を行った	
経過 5	A・B・C	経過観察後、異状なし	
経過 6			
経過 7			
経過 8			
経過 9			
経過 10			

【その事例発生時の状況について】

○事故の場合 **: 事故が起きたのはどうしてだと思うか？**

ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

個人装備が適切だった。たまたま、負傷事故にならなかった。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	いいえ
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	いいえ
・活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	いいえ
・活動に対する経験が不足していた。	いいえ

d. 心身の不調があった

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用 방법이誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった（寒かった）。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

・活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。）	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。）	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

し. その他の理由があった。

はい：傷病者本人も感染に対する認識がなく、当該事案における症状（主訴）とは関係がなかった為、医療機関での検査のみでしか知り得なかった。
